

# 令和 7 年度 医療・介護資源調査報告書（案）の説明資料

令和 8 年 1 月 30 日  
練馬区地域医療課

## 調査概要

---

### ● 調査目的

医療・介護資源の現状を経年的に把握することにより、練馬区における在宅療養の環境整備状況および在宅療養推進事業の現状と課題を把握し、施策に活かす。

### ● 調査期間

令和7年7月15日～8月31日

### ● 調査方法

Web調査（令和4年度 郵送調査）

## 調査概要

### ● 調査対象・回答率

調査対象	対象数	回答数	回答率
<b>全体</b>	1,899	804	42.3% ※令和4年度 35.5%
■ 病院（地域連携室）	20	8	40.0%
■ 診療所	598	157	26.3%
■ 歯科診療所	443	193	43.6%
■ 薬局	346	164	47.4%
■ 訪問看護ステーション・ 看護小規模多機能型居宅介護 (以降、「訪看・看多機」とする)	118	64	54.2%
■ 居宅介護支援事業所 (以降、「居宅」とする)	178	127	71.3%
■ 高齢者向け住まい等	196	91	46.4%

## 調査項目

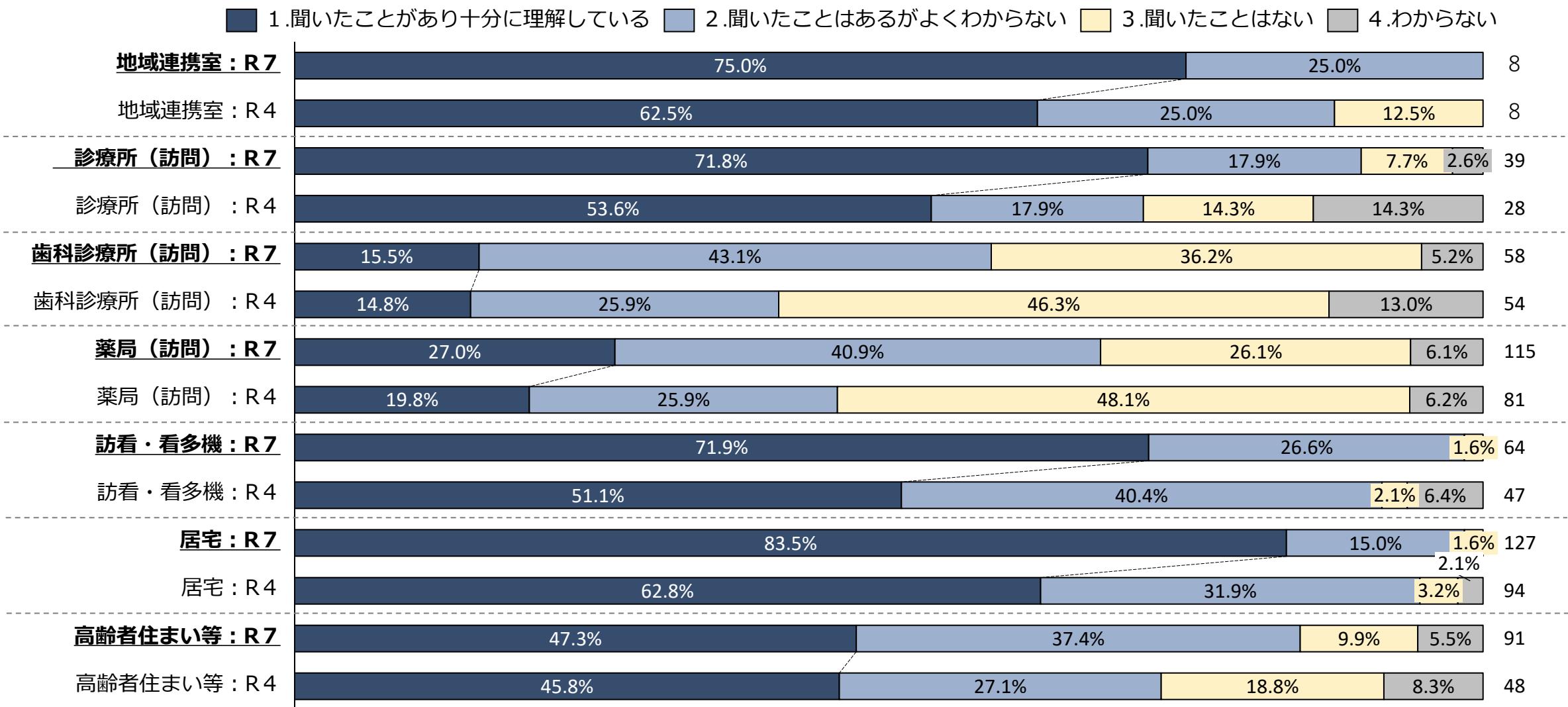
---

1. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の現状
2. 多職種連携の状況
3. BCPの作成状況等
4. 今後区民が安心して在宅療養をする上で必要とされていること
5. 興味・関心がある区の在宅療養推進事業等

## 1 - 1 . ACPの認知度（令和4年度調査との比較）

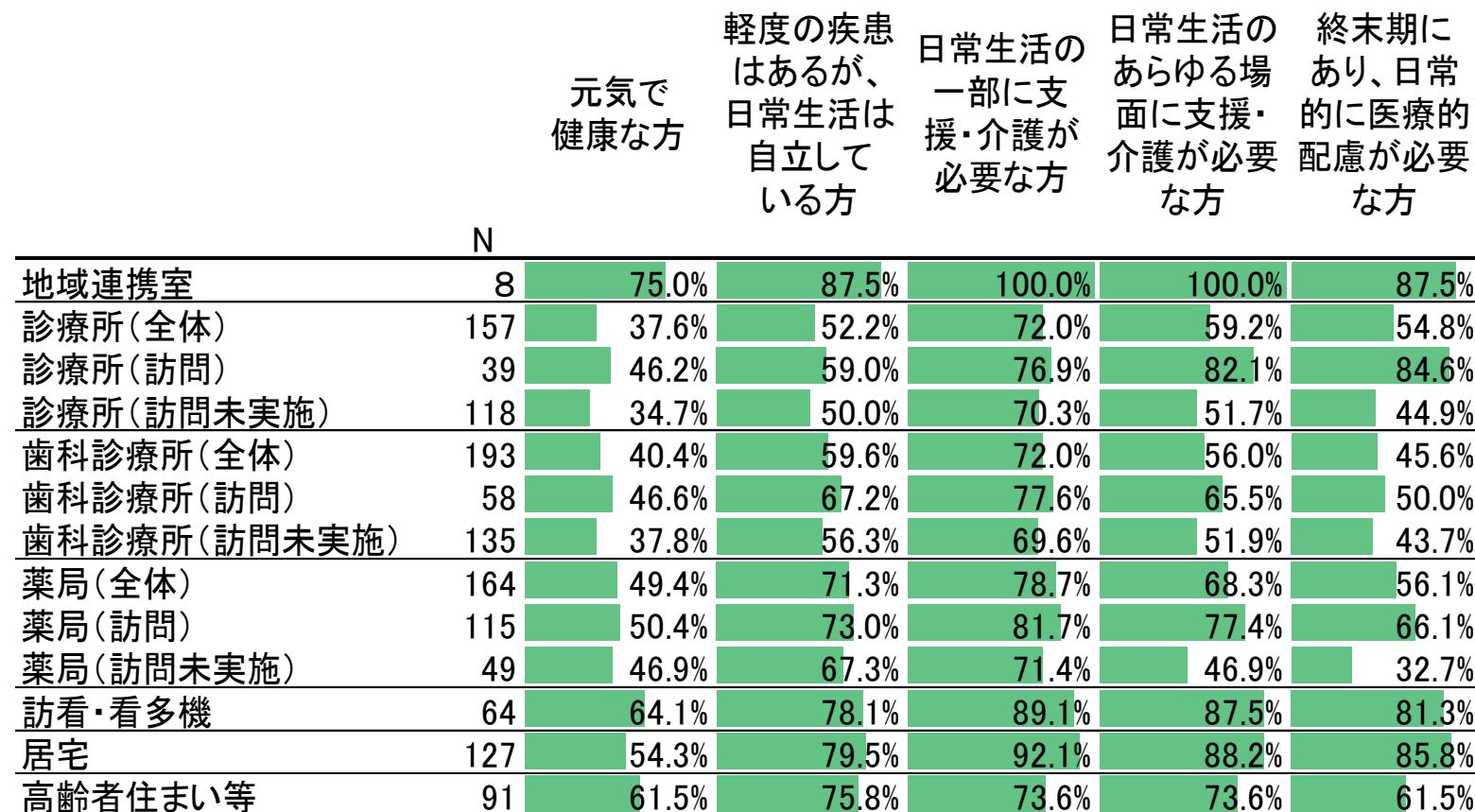
- ✓ ACPの認知度は、令和4年度調査時と比較して令和7年度は大きく向上しており、全体で「聞いたことがあり十分に理解している」の割合が増加した。特に診療所、訪看・看多機、居宅は大きく増加となった。

※無回答を除いて集計



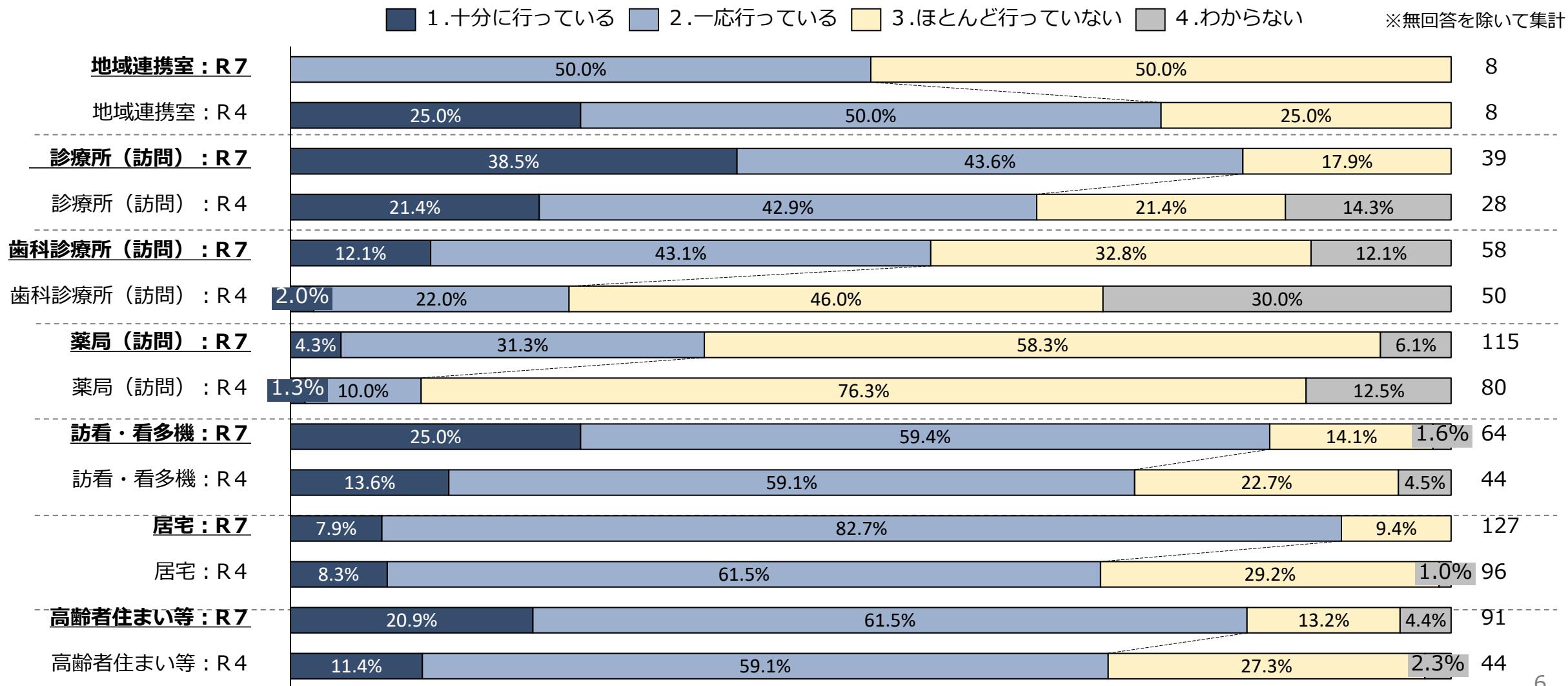
## 1-2. ACPを実施すべきと認識している患者/対象者

- ✓ 地域連携室、訪看・看多機、居宅では幅広い患者像を対象と認識している一方、診療所（訪問未実施）・歯科診療所（訪問未実施）・薬局（訪問未実施）は実施すべき対象の認識に差があり、特に「元気な方」「終末期の方」への回答が5割以下となつた。



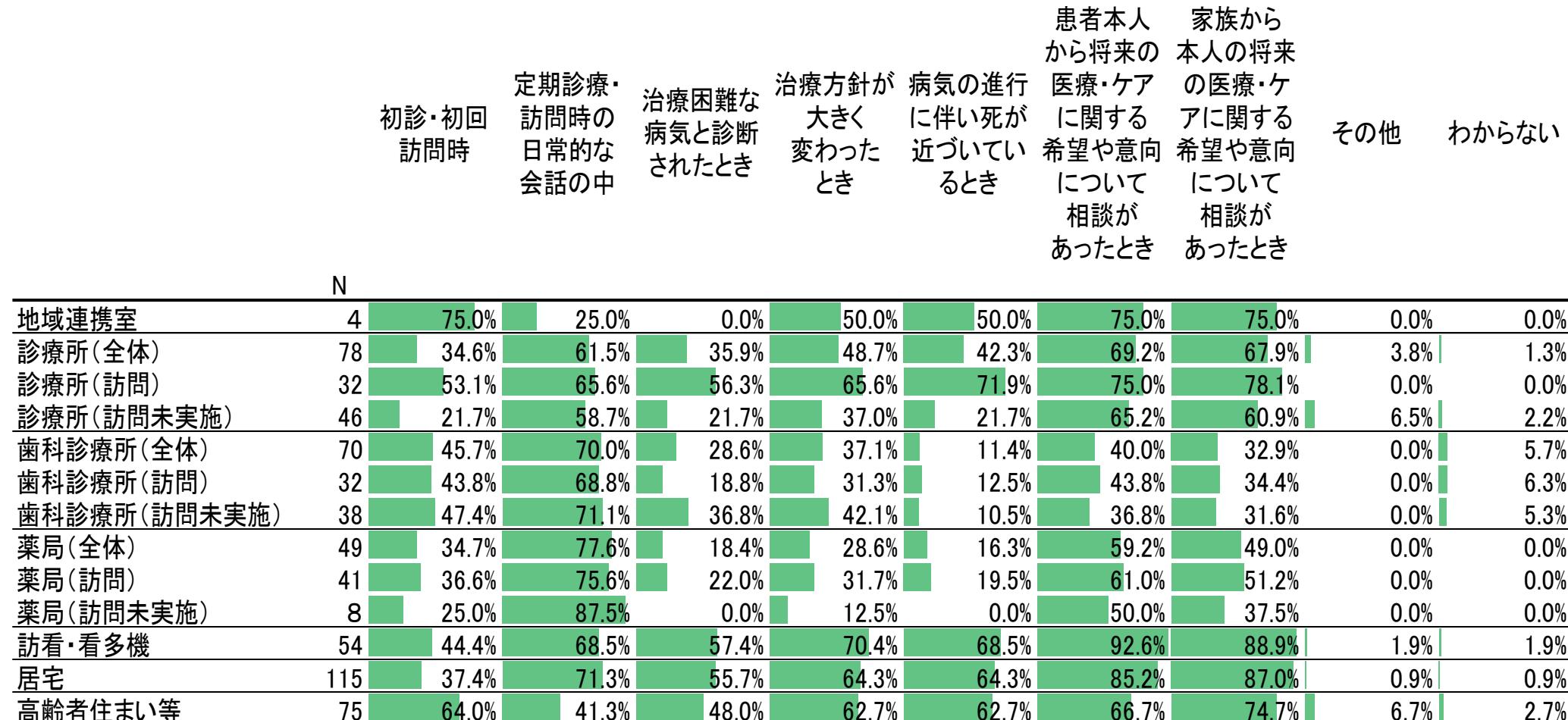
## 1 - 3 . ACPの実施状況（令和4年度調査との比較）

- ✓ ACPを「十分に行っている」「一応行っている」と回答した割合は、令和4年度調査時と比較し、令和7年度は増加傾向となった。



## 1-4. ACPを行うタイミング

- ✓ 診療所（訪問）、訪看・看多機、居宅では多様なタイミングで話し合いが行われており、全体的には「定期診療・訪問時の日常的な会話の中」や「患者や家族から相談があったタイミング」での実施が多かった。



※今後受けたい医療・ケアについての患者/利用者との話し合いを「十分に行っている」、「一応行っている」と回答したものを対象に集計

## 1-5. ACPを行っていない理由

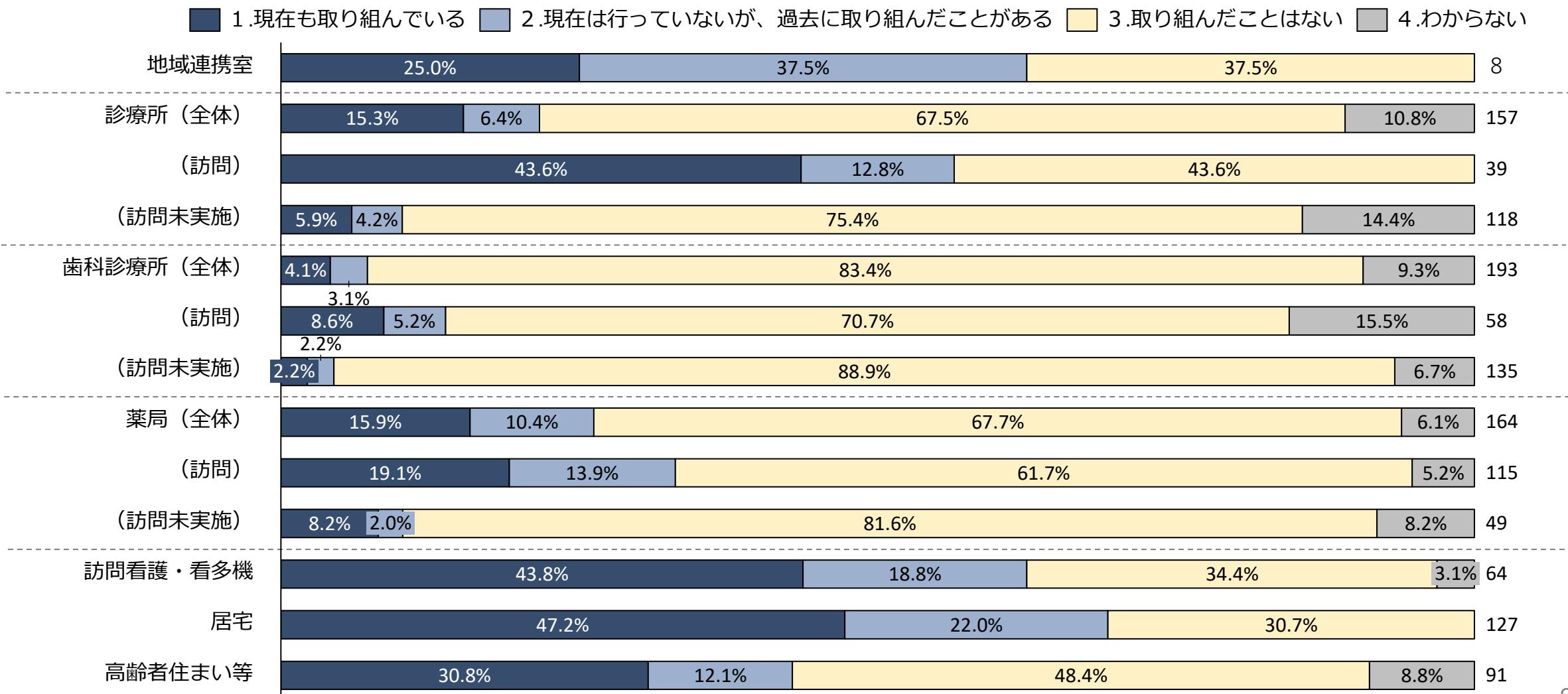
- ✓ 全体としては「ACPに関する理解が深まっていない」が多く、特に居宅や高齢者住まい等では6割以上となつた。

	N	ACPに 関する理解 が深まっ てない	ACPを 実施する 時間がない	ACPを実施 する対象を 人生の 最終段階を 迎える方と 認識して いた	自職種は ACPを実施 する対象 ではないと 認識して いた	実施でき ているか わからない	その他	わからぬ
地域連携室	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
診療所(全体)	53	45.3%	37.7%	5.7%	24.5%	9.4%	5.7%	15.1%
診療所(訪問)	7	57.1%	71.4%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
診療所(訪問未実施)	46	43.5%	32.6%	6.5%	28.3%	8.7%	6.5%	17.4%
歯科診療所(全体)	102	38.2%	19.6%	4.9%	13.7%	16.7%	1.0%	27.5%
歯科診療所(訪問)	19	36.8%	31.6%	10.5%	21.1%	15.8%	0.0%	21.1%
歯科診療所(訪問未実施)	83	38.6%	16.9%	3.6%	12.0%	16.9%	1.2%	28.9%
薬局(全体)	99	52.5%	28.3%	6.1%	8.1%	17.2%	0.0%	13.1%
薬局(訪問)	67	49.3%	32.8%	7.5%	7.5%	22.4%	0.0%	11.9%
薬局(訪問未実施)	32	59.4%	18.8%	3.1%	9.4%	6.3%	0.0%	15.6%
訪看・看多機	9	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%
居宅	12	75.0%	58.3%	0.0%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%
高齢者住まい等	12	66.7%	50.0%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%

※今後受けたい医療・ケアについての患者/利用者との話し合いを「ほとんど行っていない」と回答したものを対象に集計

## 1 - 6 . 職員に対するACPの理解促進に向けた取り組み状況

- ✓ 診療所（訪問未実施）、歯科診療所（訪問/訪問未実施）、薬局（訪問/訪問未実施）、高齢者住まい等は「取り組んだことはない」が最多で、特に歯科診療所（訪問未実施）、薬局（訪問未実施）は8割以上となった。



## 1-7. 職員に対するACPの理解促進に向けた取り組み状況

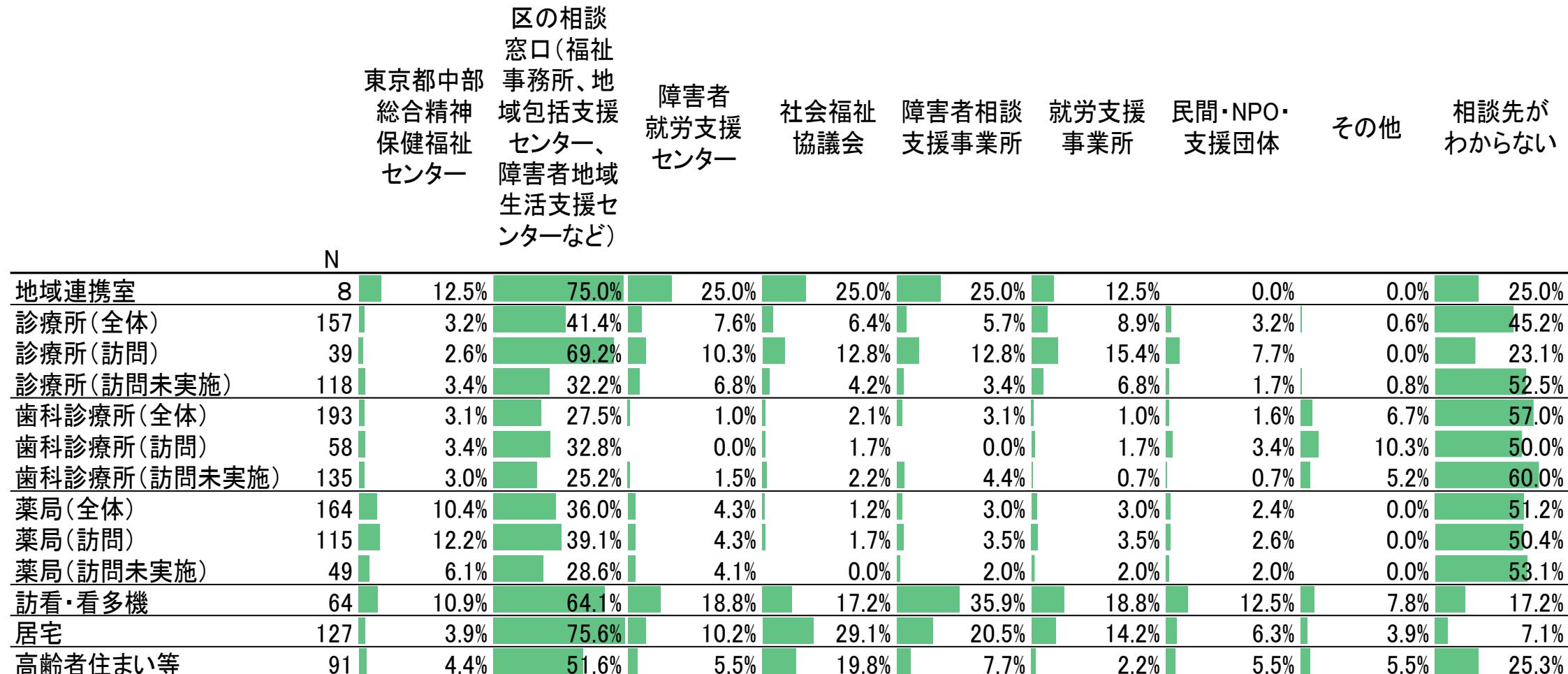
- ✓ 全体としては「自施設で開催される勉強会・研修会」、「個人の自主的な学習や実務経験を通じての学び」が多く挙がった中で、地域連携室、薬局（訪問）、訪看・看多機、居宅からは、「練馬区が実施している研修または教材での学習」が最も多く挙げられた。

	N	自施設で開催される勉強会・研修会	東京都が実施している研修または教材での学習	練馬区が実施している研修または教材での学習	練馬区以外の自治体が実施している研修または教材での学習	民間企業が実施している研修または教材での学習	職能団体・地区連携の会等が研修または教材での学習	個人の学習や実務経験を通じての学び	その他
地域連携室	5	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
診療所（全体）	34	29.4%	20.6%	26.5%	14.7%	23.5%	26.5%	79.4%	0.0%
診療所（訪問）	22	36.4%	27.3%	31.8%	22.7%	27.3%	31.8%	68.2%	0.0%
診療所（訪問未実施）	12	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%	0.0%
歯科診療所（全体）	14	57.1%	35.7%	28.6%	7.1%	0.0%	14.3%	35.7%	0.0%
歯科診療所（訪問）	8	75.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
歯科診療所（訪問未実施）	6	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
薬局（全体）	43	37.2%	18.6%	55.8%	9.3%	23.3%	34.9%	41.9%	0.0%
薬局（訪問）	38	39.5%	18.4%	63.2%	10.5%	23.7%	34.2%	42.1%	0.0%
薬局（訪問未実施）	5	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
訪看・看多機	40	55.0%	42.5%	57.5%	12.5%	17.5%	7.5%	52.5%	0.0%
居宅	88	56.8%	29.5%	72.7%	6.8%	15.9%	40.9%	34.1%	0.0%
高齢者住まい等	39	89.7%	15.4%	15.4%	0.0%	25.6%	17.9%	41.0%	0.0%

## 2-1. 障害福祉分野※との連携時に主に相談・連絡を行う機関

※障害福祉分野：身体・精神・知的障害者を指す

- ✓ 地域連携室、診療所（訪問）、訪看・看多機、居宅、高齢者住まい等で「区の相談窓口」が最多であった一方、診療所（訪問未実施）、歯科診療所（訪問/訪問未実施）、薬局（訪問/訪問未実施）は「相談先がわからない」が5割以上となった。



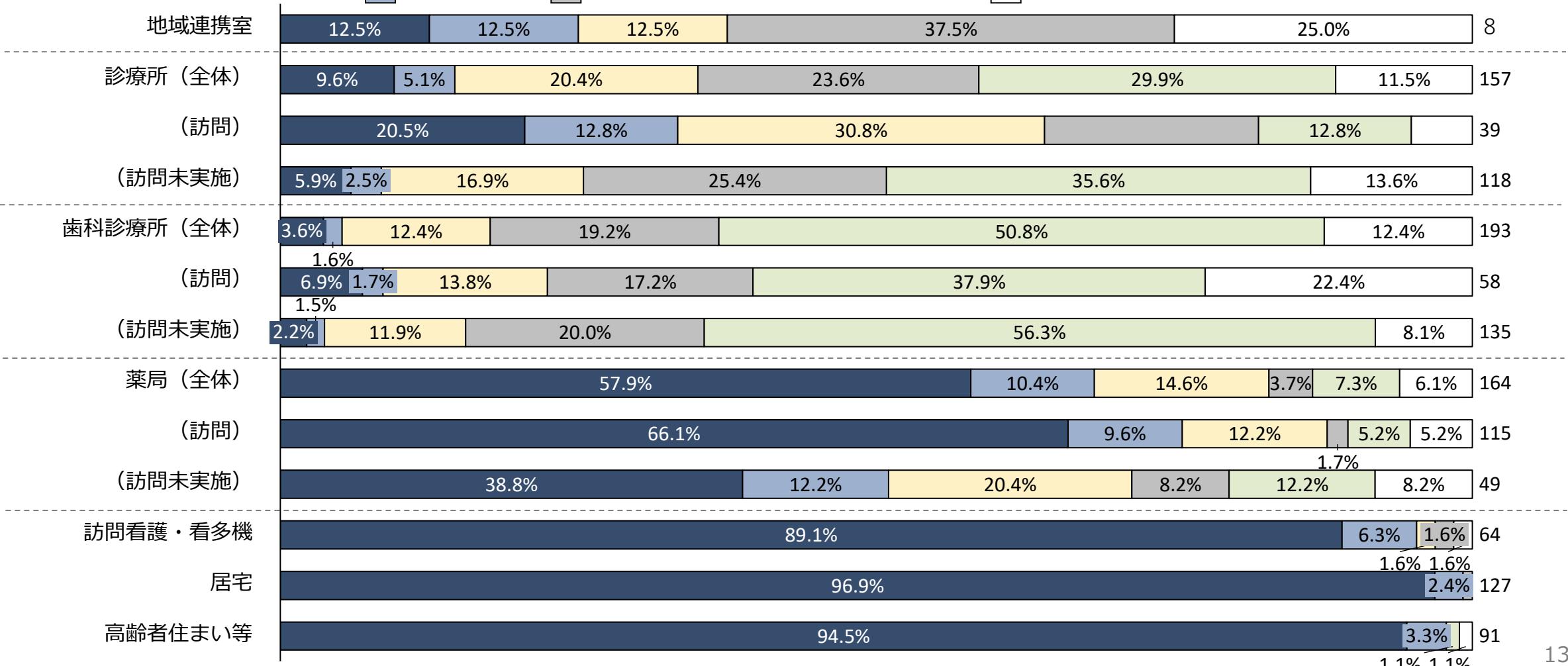
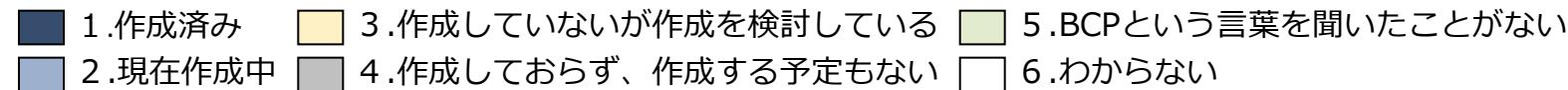
## 2-2. 障害福祉分野との連携が必要になる場面

- ✓ 訪看・看多機は多くの場面で連携が必要と回答し、特に「退院時の生活支援・福祉サービス調整」は82.8%と高かった一方、診療所（訪問未実施）、歯科診療所（訪問未実施）、薬局（訪問未実施）は、「健康状態の急変時」を除き、連携を必要とする割合は1～4割にとどまった。

	N	入院時の患者情報の収集	退院時の生活支援・福祉サービス調整	自宅から施設への入所や施設からの退所	外来リハビリや訪問リハビリの調整	医療的ケアの調整 (訪問看護による服薬管理や医療機器の利用など)	就労・社会参加支援	行動障害や精神的ケアへの対応	健康状態の急変時	その他
地域連携室	8	62.5%	87.5%	62.5%	50.0%	62.5%	37.5%	37.5%	37.5%	0.0%
診療所（全体）	157	31.2%	33.1%	41.4%	34.4%	45.2%	23.6%	35.7%	42.7%	5.7%
診療所（訪問）	39	43.6%	56.4%	71.8%	48.7%	66.7%	35.9%	51.3%	46.2%	0.0%
診療所（訪問未実施）	118	27.1%	25.4%	31.4%	29.7%	38.1%	19.5%	30.5%	41.5%	7.6%
歯科診療所（全体）	193	37.8%	29.5%	30.1%	25.9%	40.9%	12.4%	32.6%	50.8%	6.2%
歯科診療所（訪問）	58	41.4%	34.5%	39.7%	31.0%	50.0%	19.0%	43.1%	51.7%	6.9%
歯科診療所（訪問未実施）	135	36.3%	27.4%	25.9%	23.7%	37.0%	9.6%	28.1%	50.4%	5.9%
薬局（全体）	164	51.8%	42.7%	35.4%	14.6%	49.4%	12.8%	24.4%	40.2%	0.0%
薬局（訪問）	115	56.5%	44.3%	33.9%	14.8%	52.2%	13.9%	27.0%	41.7%	0.0%
薬局（訪問未実施）	49	40.8%	38.8%	38.8%	14.3%	42.9%	10.2%	18.4%	36.7%	0.0%
訪看・看多機	64	60.9%	82.8%	57.8%	48.4%	71.9%	46.9%	57.8%	65.6%	6.3%
居宅	127	52.0%	70.9%	45.7%	38.6%	63.8%	37.8%	52.8%	48.8%	5.5%
高齢者住まい等	91	59.3%	44.0%	50.5%	22.0%	37.4%	15.4%	39.6%	37.4%	6.6%

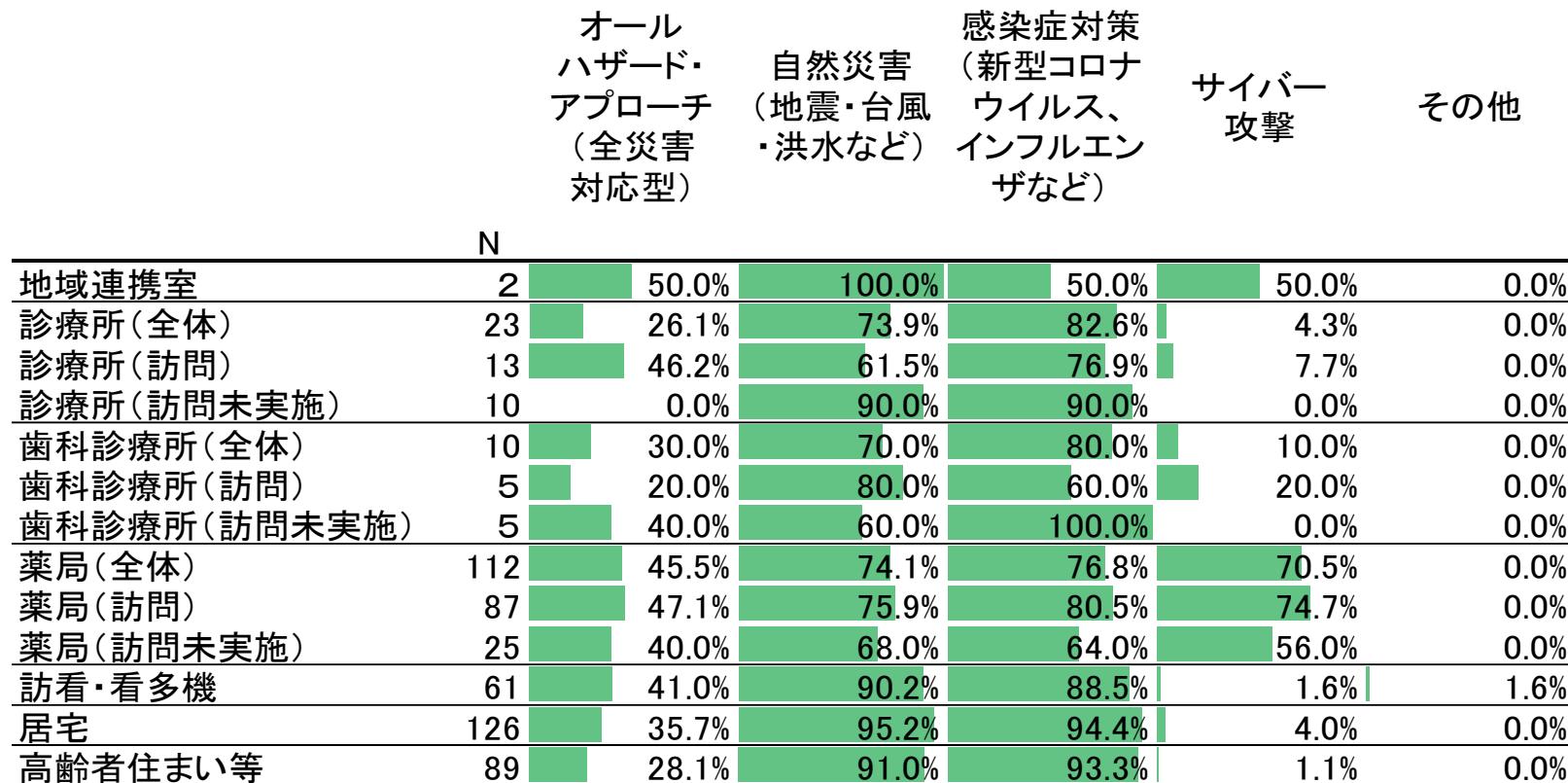
### 3 - 1 . BCPの作成状況

- ✓ BCPは訪看・看多機、居宅、高齢者住まい等で「作成済み」と回答した割合が8～9割となった一方、地域連携室、診療所（訪問/訪問未実施）、歯科診療所（訪問/訪問未実施）では約2割以下となった。



### 3-2. 作成してBCPの対応事象

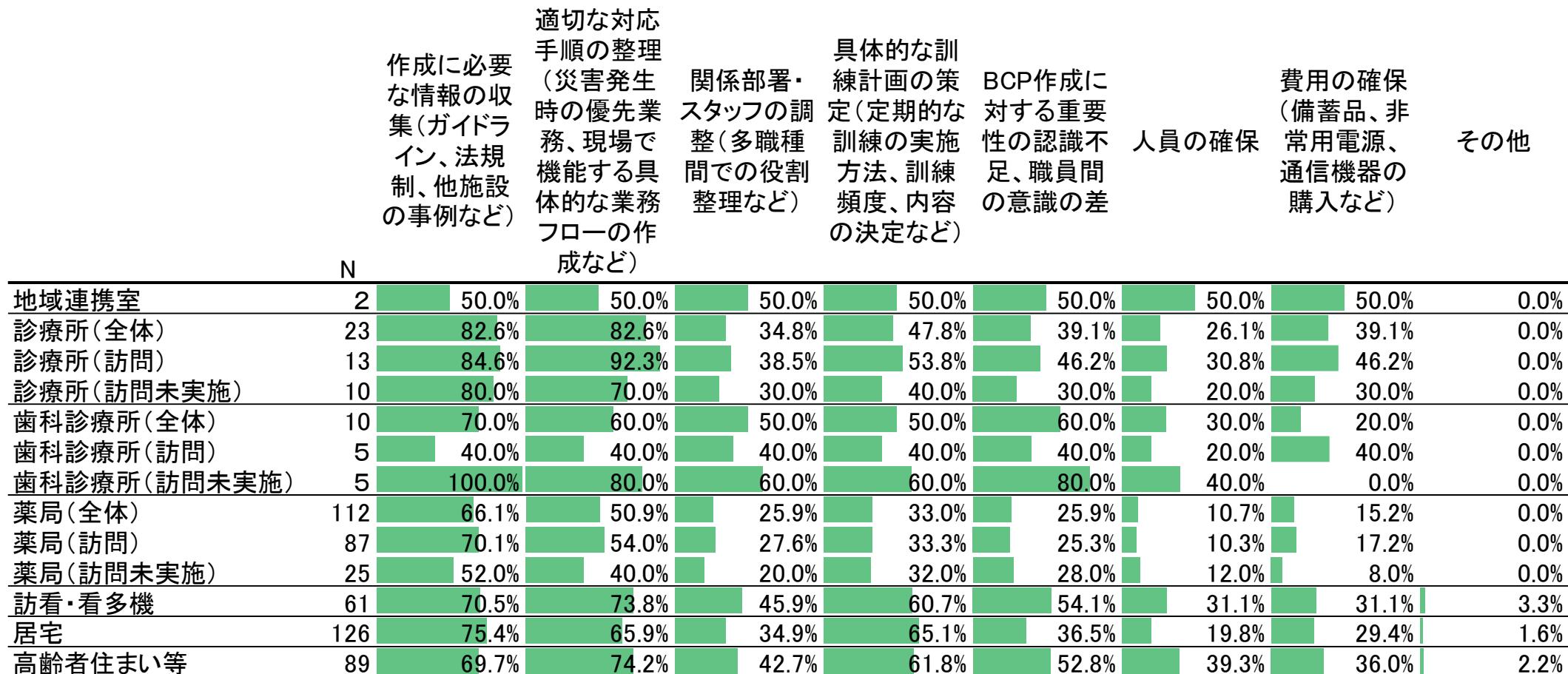
- ✓ 「自然災害」と「感染症対策」は全体で5割以上と最多で、薬局（訪問）のみ「サイバー攻撃」が7割以上となった。



※BCPの作成状況に対して「作成済み」または「現在作成中」と回答したものを対象に集計

### 3-3. BCPを作成する上で苦慮した部分

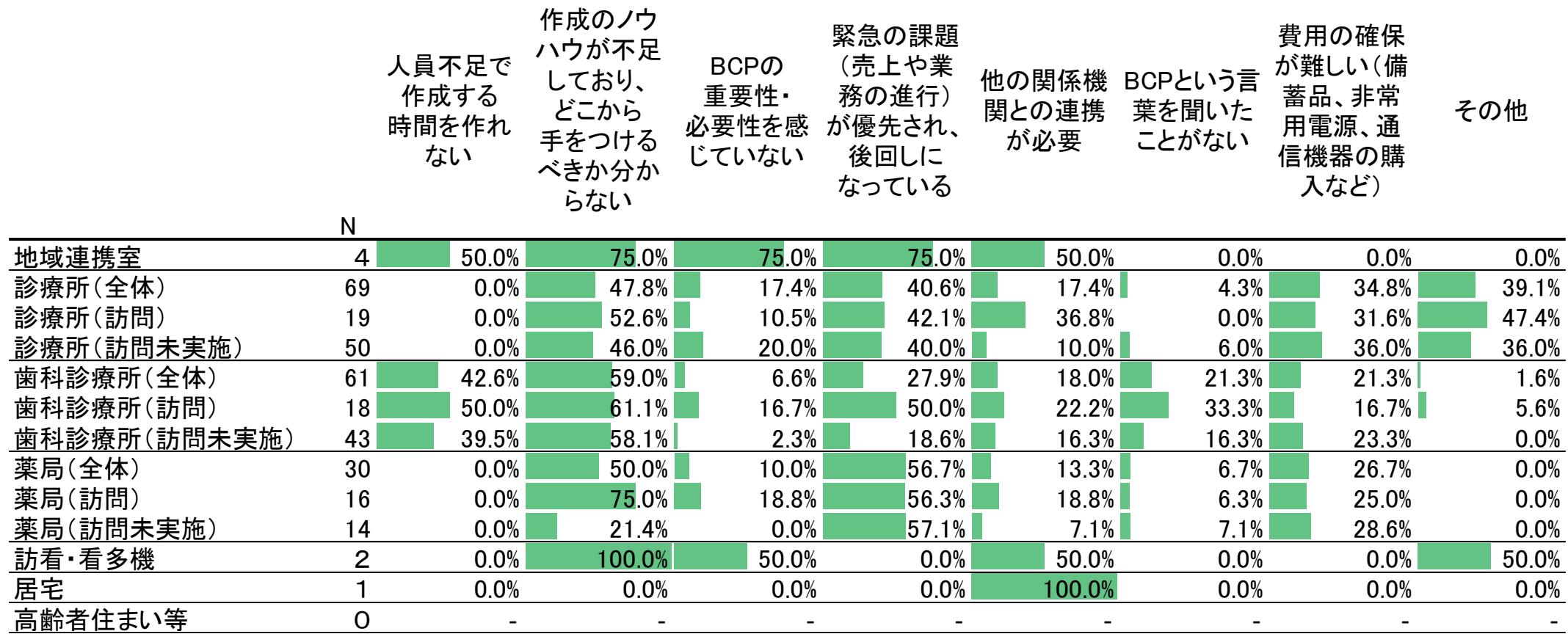
- 「作成に必要な情報の収集」、「適切な対応手順の整理」の割合は全体で高く、診療所（訪問）、歯科診療所（訪問未実施）では8割以上となった。また、「具体的な訓練計画の策定」は、訪看・看多機、居宅、高齢者住まい等で6割以上となった。



※BCPの作成状況に対して「作成済み」または「現在作成中」と回答したものを対象に集計

### 3-4. BCP作成に至ってない理由

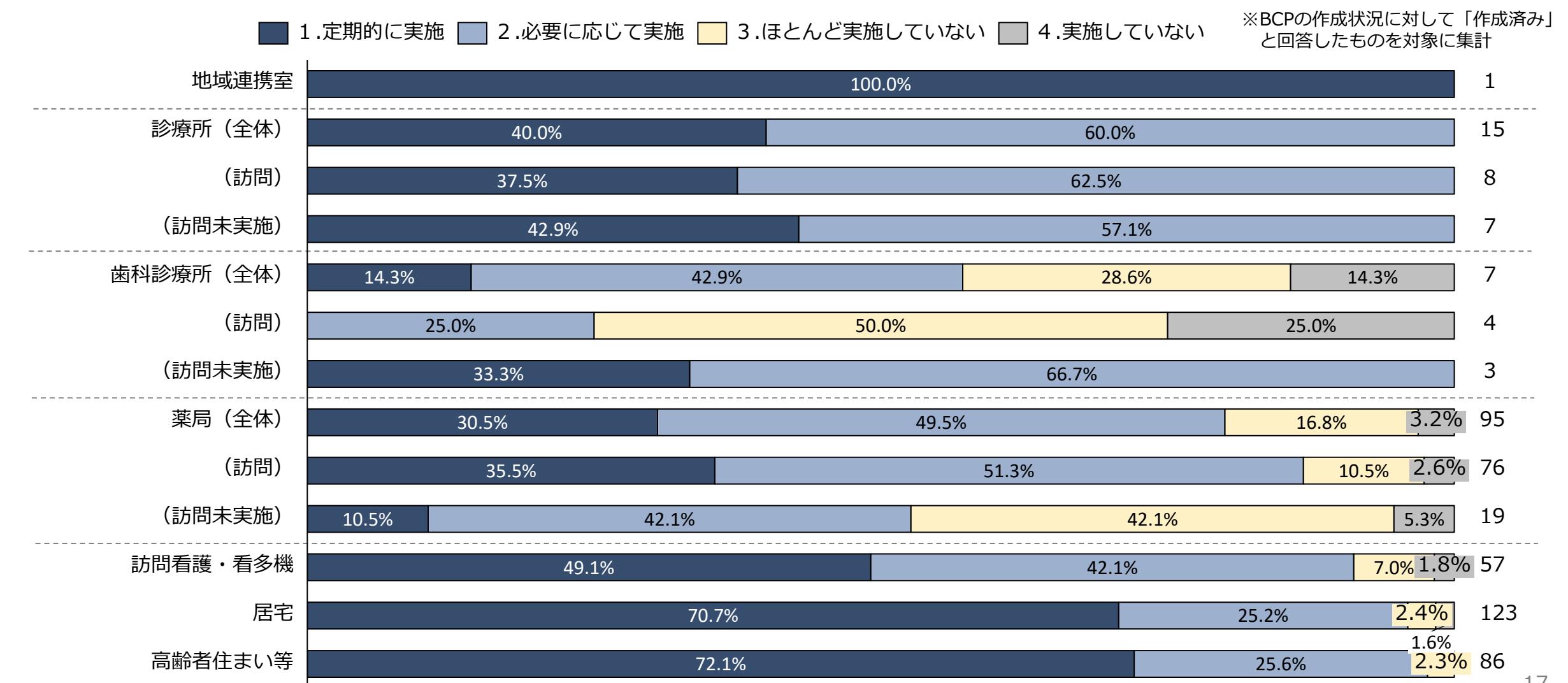
- ✓ 「作成ノウハウが不足しており、どこから手をつけるべきかわからない」が薬局（訪問未実施）・居宅を除き最多となつた。次いで「緊急の課題が優先され、後回しになっている」が多かった。



※BCPの作成状況に対して「作成していないが作成を検討している」、「作成しておらず、作成する予定もない」と回答したものを対象に集計

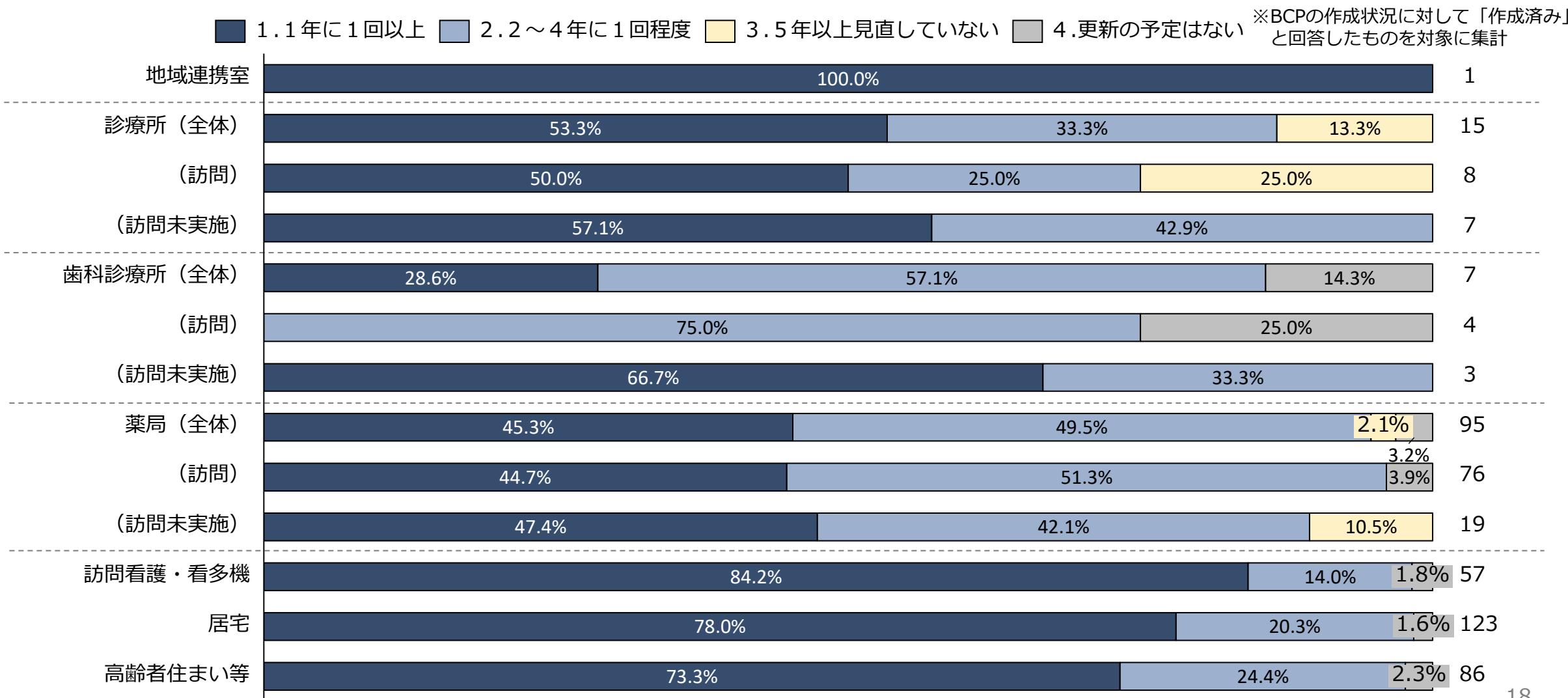
### 3-5. BCPのスタッフ教育・周知頻度

- ✓ 地域連携室、居宅、高齢者住まい等で「定期的に実施」と回答した割合が7割以上と高かった一方、歯科診療所（訪問）・薬局（訪問未実施）は「ほとんど実施していない」「実施していない」と回答した割合が多かった。



### 3 - 6 . BCPの更新頻度

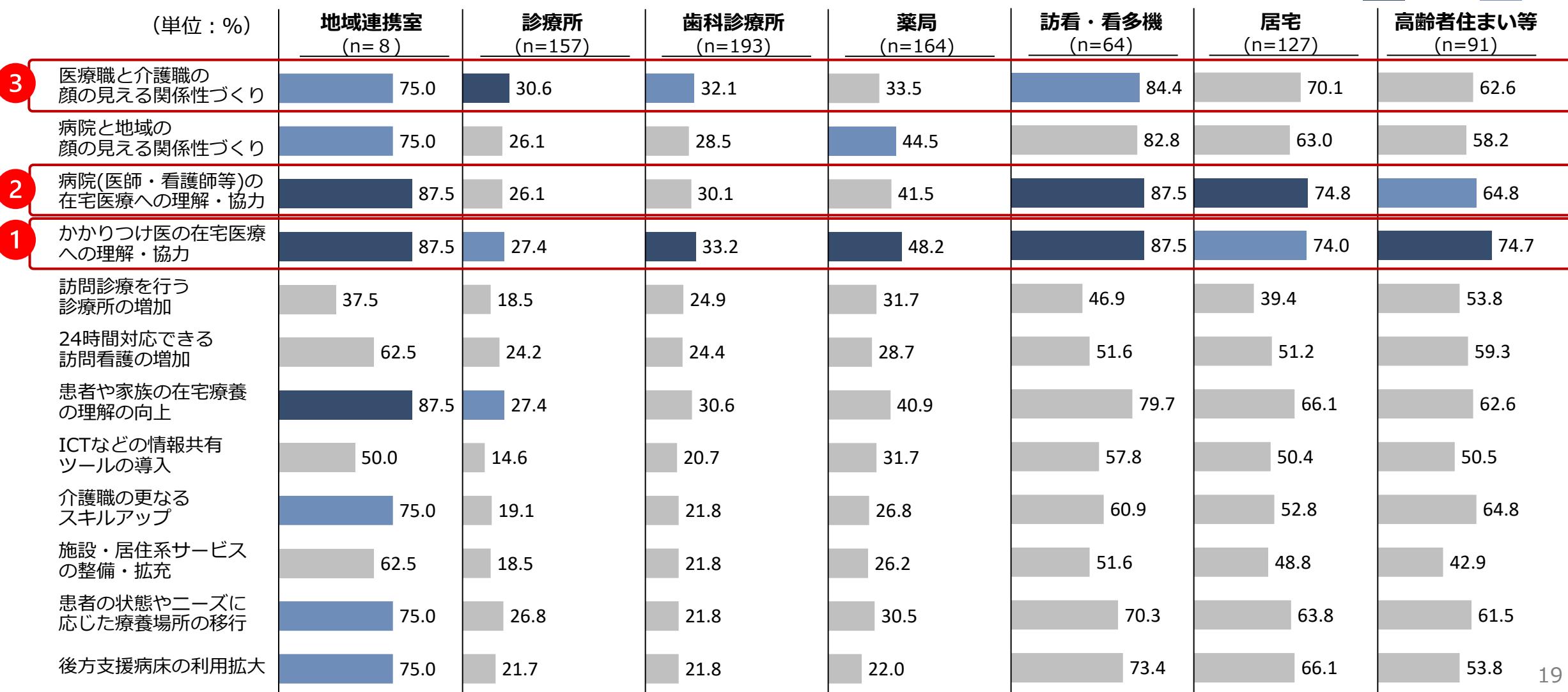
- ✓ 歯科診療所（訪問）・薬局（訪問）を除き、「1年に1回以上」が最多であった。一方で、診療所（訪問）で「5年以上見直していない」が25.0%、歯科診療所（訪問）では「更新の予定はない」が25.0%となった。



## 4-1. 今後区民が安心して在宅療養をする上で必要なこと：「とても必要」と回答した割合

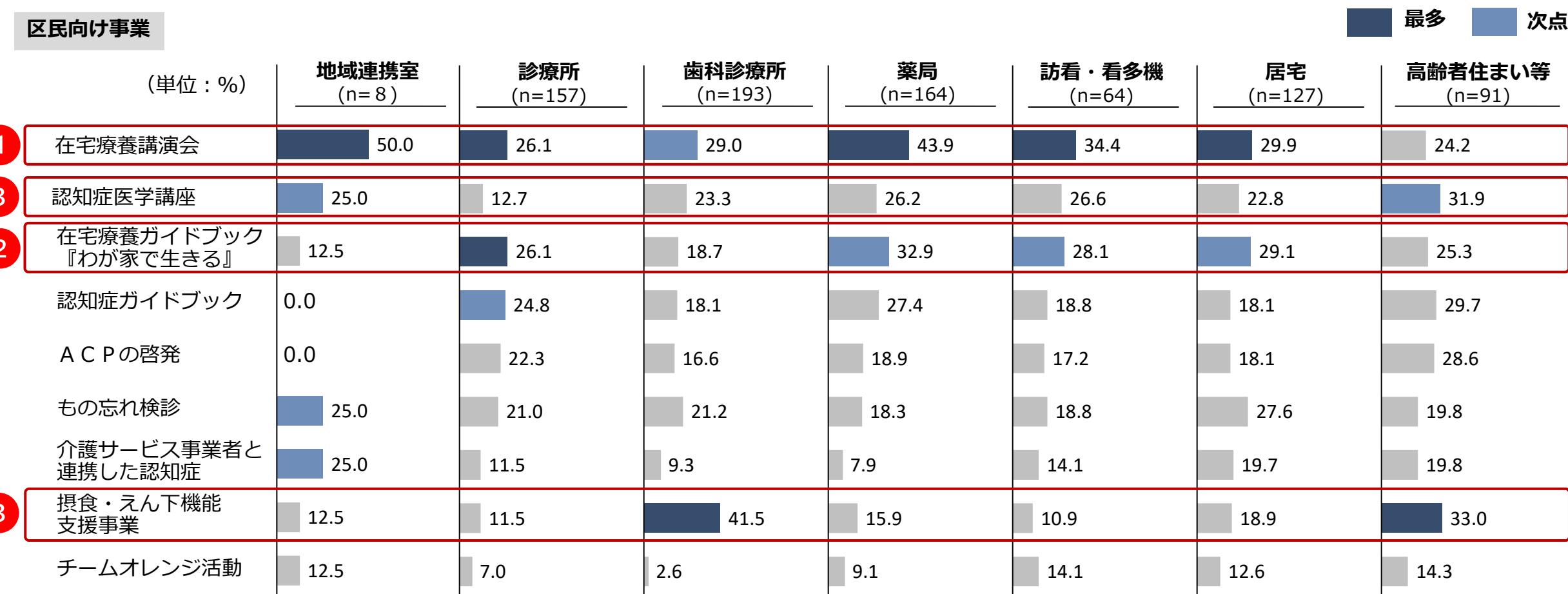
- ✓ 回答の割合が高かったものとしては、「かかりつけ医の在宅医療への理解・協力（7職種）」、「病院の在宅医療への理解・協力（4職種）」、「医療職と介護職の顔の見える関係性づくり（4職種）」の3項目であった。

 最多  次点



## 5-1. 興味・関心がある区の在宅療養推進事業等【区民向け事業】

- ✓ 全体で「興味・関心がある」と回答した割合は「在宅療養講演会」が最多で、その他では「在宅療養ガイドブック『わが家で生きる』」、「認知症医学講座」、「摂食・えん下機能支援事業」が高かった。



## 5-2. 興味・関心がある区の在宅療養推進事業等【専門職向け事業】

- ✓ 全体で「興味・関心がある」と回答した割合は「医療・介護・消防（救急）との連携促進」が最多で、その他では「入退院連携ガイドライン」、「ACP勉強会」が高かった。

